

福岡空港の総合的な調査に係る  
PI活動(ステップ2)の実施状況レポート

実施状況把握を行った者

福岡空港調査PI有識者委員会委員 石田 東生

所見

(アドバイス等)

PIレポートは詳細版も概要版も工夫されておりよくできていると思うが、以下の点が残念であった。ステップ3においてさらに改善されることを期待して、以下に感想を記す。

1. ステップ1においてコミュニケーションの結果得られた成果、特に、もっと知りたい点、表現の方法など、ステップ2の資料の内容と表現方法に関するアイディア・ポイントはかなりの数が得られたかと思うが、そのことについての記述が少ないようである。PIプロセスにおいては多種多様の主体間のコミュニケーションによる成果が明示的に示されて、そのことによって議論が触発され議論の質と程度が向上していくと考えるが、そのようなダイナミックな構成と内容に必ずしもなっていない。むしろ、福岡空港調査連絡調整会議から市民への一方的情報伝達手段としてPIレポートが認識されかねない構成になっていて、残念である。ステップ3では善処されたい。
2. ステップ2は地域将来像とそれに基づいた需要予測が主対象となるステップであるが、PIレポートを読む限りに於いては、両者の連携は記述されていない。地域の将来像は複数提示されているが、そのことが需要予測の前提条件にどのように反映されているのか、されていないのか不明であり、ステップ2として両者を同時に議論することの意義と意味が必ずしも明確でない。やはり、議論した結果、共通的期待として定められた将来像から需要予測の前提条件が導かれる、あるいは少なくとも明瞭に関連づけられる需要予測のプロセス、議論のプロセスが必要ではないだろうか。